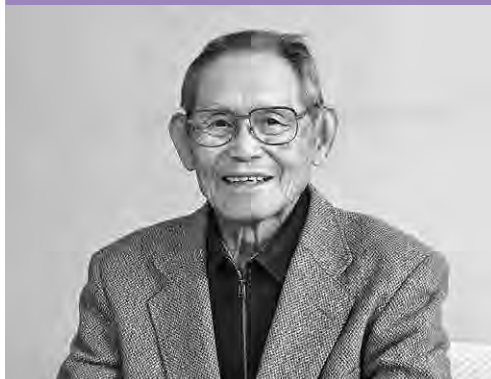


● 昭和10年生まれ
枝崎^{えださき}
幹雄^{みきお}さん
(勝山新生)

交流施設「げんき」の利用促進を



職場の先輩から『地域に骨を埋めるつもりで行きなさい』と激励を受け、昭和63年7月に勝山郵便局に赴任してきた枝崎さん。「人の付き合いは、自分から努めて中に入ること。そして、頼まれごとは自分がやれる範囲のものは引き受けることが大切」と話してくれました。地域からの信頼もあり、永年、選挙管理委員会の委員を務めていました。現在は、ゲートボールを楽しみ、所属する「置戸清流」は全国大会にも出場する強豪チーム。「健康のため、これからもゲートボールを皆さんと楽しく仲良く続けていきたい。『げんき』は冬でも使用できる立派な施設。皆さんも利用してほしい」と話してくれました。

● 昭和58年生まれ
石井^{いし}
友恵^{ともえ}さん
(宮下)

子育ても趣味もバランスよく



昨年の大きなできごとは「理容師の夫が独立し、町内にtoms（トムズ）を開業したことです。色々な方に協力していただき、3月に開店しました。おけとの力が集まると、こんなにすごいことができるんだと思いました。みなさんに感謝しています」と話す石井さん。仕事は、放課後児童クラブくるみの会の指導員をしています。趣味は、バレーボールや消しゴムハンコ作り。「人に恵まれ、バレーやモノ作りのサークルに誘われました。仕事も3人の子育ても忙しいですが、バランスをとりながら活動しています」と充実した日々を話してくれました。

● 昭和22年生まれ
越野^{こしの}
良子^{りょうこ}さん
(西町)

夫婦二人三脚の日々



「今はつつじの会の会長としてボランティア活動をしています。中途半端なことが嫌で、子育てが終わるまでは活動していなかったけど、2年半の約束で会長職を引き受けました。皆さんに支えられて、もう5年。当初は苦手だった挨拶もだいぶ慣れてきたかな」と語る越野さん。体を動かすのが大好きで、テニスやピンポンを毎週楽しんでいます。食改さんとしても活動しており、忙しい日々を過ごしています。料理好きで、キッチン木の実でボランティア活動をしている夫が、様々な活動を支えてくれているとのこと。「うちは2人で協力してボランティアしているの」と素敵な笑顔で夫婦の絆を話してくれました。

● 平成7年生まれ
齊藤^{さいとう}
悠也^{ゆうや}さん
(豊住)

1人前になることを目指して



昨年の4月から実家に就農した齊藤さん。両親と共にタマネギ、小麦、ビートなどを作っています。また、境野消防団に入団しました。「仕事は、父に教わりながら、一つずつ作業を覚えている状態です。昨年の夏まつりでは、シャコタンズのメンバーで人間ばん馬に参加。ばん馬は中学生以来の参加でしたが、練習では中井さんたち強豪チームに曳き方を教えてもらいました。今年もシャコタンズで頑張ります！」そんな齊藤さんに今年の目標を訪ねると「昨年よりも仕事のスキルアップを目指しています。早く一人前になりたいです」と力強く決意を語ってくれました。